

飛躍

HIYAKU
第 385 号



東海大学付属高輪台高等学校・中等部 学校報

●発行日 / 2019年3月1日

●発行者 / 東海大学付属高輪台高等学校・中等部 校長・片桐知己治

「知性と品性、そして感性を」

若き日に汝の思想を培え

Cultivate your thoughts in your early days

若き日に汝の体躯を養え

Nurture your body in your early days

若き日に汝の智能を磨け

Develop your intellect in your early days

若き日に汝の希望を星につなげ

Aim your hopes towards the stars in your early days

卒業おめでとう!!

高校・中等部第3学年 総長賞・総代・各賞受賞者決まる

中等部吹奏楽部 アンサンブルコンテスト金賞受賞!

スキー部 市川さん関東大会・インターハイ出場!

高校吹奏楽部 金管八重奏 全国大会出場決定

ダンス部 全国大会出場決定

TOP*NEWS

高
校

東海大学総長賞
4組 若尾 恵実



卒業生総代
7組 住谷 祥花



東海大学生徒会功労賞
6組 中村 結衣



優等賞
8組 安田 大翔



3力年皆勤賞(代表)
3組 京増 有紀



中
等
部

東海大学総長賞
B組 石氏 喜子



卒業生総代
B組 松本 凌悟



東海大学生徒会功労賞
B組 大谷 蓮



優等賞
A組 伊藤 春輝



3力年皆勤賞(代表)
B組 吉澤 頼郁



2018年度 中・高卒業生各賞受賞生徒

表紙に掲載しました東海大学総長賞、卒業生総代、東海大学生徒会功労賞、優等賞、3カ年皆勤賞代表の各賞受賞者を卒業証書授与式当日に表彰します。また、卒業証書授与式前日の「3年生を送る会」で以下の26名と2団体の日頃の努力に対して表彰します。

高 校

東海大学奨学生



10組 河野 鷹通

東海大学特別奨励推薦(代表)



6組 中村 結衣

3カ年精勤賞(代表)



5組 木村 友香

1カ年皆勤賞(代表)



2組 佐藤 元太

1カ年精勤賞(代表)



8組 峰岸 紗希

東京都知事賞



10組 佐藤 駿

日本私立中学高等学校連合会賞



10組 松本 萌子

東京都私学財団奨励賞



4組 平林 恵美

東京都私学財団文化・スポーツ活動賞

吹奏楽部

東京都体育協会優良生徒



1組 白澤 智也



3組 市川 紗理奈

東京都高等学校文化活動優良賞



7組 古藤田 麻衣



9組 太田 龍宏

東京都高等学校体育連盟柔道賞



1組 佐々木 大也



3組 松永 夏季

東京都高等学校野球連盟賞



6組 伊東 翼

東京都高等学校軽音楽部連盟賞



6組 浜村 麻裕



8組 木我 雛子

東京都高等学校文化連盟賞



1組 額脇 瑠音

高校生新聞社賞(SSH研究発表)



10組 高橋 凌真



10組 平林 佑規

東京都私立中学高等学校協会協会表彰

ダンス部

中 等 部

3カ年精勤賞(代表)



A組 菅野 怜王

1カ年皆勤賞(代表)



B組 鈴木 尚輝

1カ年精勤賞(代表)



A組 大塚 藍

日本私立中学高等学校連合会賞



B組 齋藤 圭

東京都体育協会優良生徒



A組 萱場 いずみ



B組 緒方 大泰

※その他の各賞受賞者は「卒業証書授与式」冊子をご参照ください。

2019年2月26日現在

卒業する皆さんへ

平成最後の卒業生の皆様へ

秋澤 雄生

生徒会会長 2年8組



卒業生の皆様、ご卒業おめでとうございます。今、皆様は高輪台での3年間をどのように振り返っていらっしゃるでしょうか。切磋琢磨し合った友達、親身に支えてくださった先生、朝早くから遅い時間まで厳しい練習を乗り越え、仲間と泣いて笑った部活動。このような思い出の一つ一つが走馬灯のように巡っていることでしょう。

2年前、私たちの入学式で初めて先輩方にお会いしました。その時、ご来賓、保護者、新入生に挨拶をされている姿を見て「なんて大人なんだろう」と衝撃を受けたことを思い出しました。たった1学年しか変わらないのに。私たちの前にはいつもそんな先輩方の大きな背中がありました。また、夢に向かって全力で取り組む姿は私たちのお手本であり、その精神はこれからも継承していかなければならないと思っています。中等部を卒業される皆さん、これからは、私たちが皆さんにとって大きな存在になれるように努力していきます。

いよいよこの春から新しい生活が始まります。これからつらいことや壁にぶつかることもあるかと思いますが。そんな時は、高輪台での3年間を思い出して、何事にも自信を持って取り組んでください。

最後になりますが、先輩方は私たちにとって目標でもあり自慢の先輩です。それぞれの舞台でのご健闘とご活躍を心からお祈り申し上げます。

限りある「時間」を楽しむ

藤方 雅志

後援会会長



卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

皆さんが入学してからの3年という時間は、あっという間に過ぎたのではないのでしょうか。人は「時間」という限りのあるものの中で、日々の生活をし、時間が足りないと思う人もいれば、勉強をして

いる時間は長く感じる人もいます。3年という時間のなかで、将来の夢や目標が明確になった人は、今やらないといけないこともおのずと見えていることと思います。一方で、まだ将来の夢や目標が定まらず、今何をしたらいいのか悩んでいる人も多いと思います。思い出してください、授業でよく理解できない場合でも、全部書き写し、後で考えようと思ったことがあると思います。人生も同じです。今目標が定まらないなら、大きく目を開き、耳を傾け、経験し、感じ、学び、そこから得る。その繰り返しのなかでいつか自分にとって、必要だと思えるものが見えてきます。限られた時間のなかで本当にしたいことは、せいぜい2つか3つできればよいのです。皆さんは、これからも無限の可能性を秘めた時間を大いに楽しんでください。

得意技から自分の舞台を!

竹中 輝夫

部活動後援会会長



卒業する皆さん、おめでとうございます。

3年前の入学式、私は皆さんに「付属のメリットを活かし、放課後の時間を自分の得意分野を探し、伸ばす時間に使ってください」とお願いしました。皆さんはそれを実行できましたか? なぜ私が毎年このお願いをしているのか、その理由は将来の働き方につながるからです。

これから本格化するAI、IoTの時代、ただ大学を卒業しただけでは、自分の望む舞台で働くことは難しくなっています。英会話ではできて当たり前。就職するにしても、起業するにしても、他と差別化するためには自分が学んできたこと、そのスキルを企業の中でまたは、社会の中でどのように活かすかを、自分の言葉で語れる人材を、企業、投資家は求めています。そのため目的を持って学生生活を送ることが、大事なポイントになります。

中等部を卒業する皆さんは、自分の得意分野をさらに伸ばすか、または新たな得意技に挑戦し高校生活を送ってください。

次に高校を卒業する皆さん、皆さんはより具体的に、自分の得意技をスキルアップさせる方法を大学生活最初の1年間、じっくり考え、進む方向を見極めてください。そして皆さんが、企業や社会の中で自分の舞台を作り、活躍することを祈っています。

卒業後の新生活、充実した日々を送ってください。

どんな時も希望を忘れずに

内村 宏幸

高輪会会長



卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。皆さんは、この3年間で、よく学び、よく鍛え、立派に成長されました。これからは、それぞれの進路に向かって人生を歩んでいきますが、同じ学校で学び、卒業した同級生は皆さん

の掛け替えのない友です。だからこそ、友との絆を大切にしてください。これから先、幾多の困難とぶつかる時もあるでしょう。一緒に学んだ友の励ましや、たった一通のメールの助言が人生を変えるかもしれません。このような真心の励ましは、消えない声となって心に響き続けることと思います。さらには、皆さんがどんな逆境にあろうとも、保護者の皆さんは、いつも味方となって見守ってくださっていることも、どうか忘れずにください。そして、最後の最後まで希望を忘れず、何があっても負けない人生の勝利者となることを心から願っております。皆さんは本校を卒業し、同窓会高輪会の仲間となります。どうぞ卒業後も、同級生とのコミュニケーションの場として高輪会を活用してください。最後に、卒業生の皆さんのご活躍を心よりお祈り申し上げます。

2018年度 卒業記念品紹介

高等学校第70回、中等部第10回の卒業記念品として、以下の物を贈呈していただきました。

- ビジネスプロジェクター 1台
- モバイルサイズプロジェクター 4台
- 携帯型ロールスクリーン 4台
- バレーボールポスト 1セット
- かたん tent 一式 4張

プロジェクターとスクリーンは、教室だけでなくさまざまな場所で使用させていただきます。バレーボールポストは授業や部活動、テントは建学祭やさいたまグラウンドでも活用させていただきます。大切に扱っていきたく思います。ありがとうございました。



後援会より建学祭収益金(バザー・けやき屋食堂)を寄付していただきました

10月13日(土)、14日(日)の第54回建学祭では、後援会の皆さんに「バザー・けやき屋食堂」に参加していただき、2日間での収益のうち、110,000円を日本私立中学高等学校連合会が運営する「私学ボランティア基金(私立学校が災害を被った際の救援活動のための基金)」に、残りの1,050,018円を学校に寄付していただきました。以下の物を記念品として購入いたしました。本校の教育環境充実のためにご協力いただき、心より感謝申し上げます。

- 電子ピアノ 6台
- かたん tent 一式 4張

2018年度学校運営方針

1月号の学級運営「クラス指導」の目標に続き、今回は「生活指導」目標を紹介します。残り少ない2018年度ですが、教職員・生徒・保護者の皆様には、1年を振り返っていただき、気持ちを新たに2019年度を迎えていただきたいと思います。

本校の取り組み【学級運営】〈生活指導〉～私学の特色の1つは、徹底した生活指導にある～

- 基本的な生活習慣を身につけさせることにより、生徒の生活・学習に対する姿勢が積極的になり、より効果的な教育が実践できる
- 基本的な生活習慣の中で、特に挨拶の励行、欠席・遅刻・早退をしない、身なりを清潔にするなどの指導を徹底する
- 家庭・保護者と連携し「共育体制」を推進する
- 社会規範意識を高める指導を徹底する(地元住民から愛される生徒の育成)
- 全教職員が範を示し、放任不可、例外不認の原則をもって生活指導にあたる。また、これらの実現に向けて、重点指導目標を設定する(今年度は、女子ハイソックスの徹底など)
- 組織的に生徒指導にあたる
- 集会時の歌唱指導、話を聞く姿勢を徹底する



ハワイ・カナダ中期留学.....留学生体験記

ハワイ中期留学(SHIP) 体験報告

3年5組 角田 義樹

私は今回、リスニングが苦手だったのでそのスキルを上げること、また、現地の高校生の友達を作って他文化の同年代と接することを目標に、SHIPに参加しました。残り期間が半分を過ぎた今、少しではありますがリスニング力が伸び、授業をよく理解することができるようになりました。2つ目の目標の友達を作ることも達成できました。また、英語でのプレゼンテーションを毎週のようにやるので、表現力や英語スキルがハワイに来た時よりは向上しました。それと同時に、SHIPは全国から集まってくる付属高校生のうちの3~4人と共同生活を送るため、それぞれの意見交換が欠かせません。そのためコミュニケーション能力や協調性も身につけることができました。幸いなことにルームメイト、SHIP参加者全員が優しく、楽しく充実した生活を送っています。また、SHIPは勉強漬けの毎日ではなく、週に何回か街に出て聞き取り調査を行い、その後にプレゼンテーションをします。授業がグループ活動中心なので、日本とはまた違ったスタイルでとても新鮮に過ごすことができました。



カナダ中期留学 体験報告

3年3組 千葉 智美

今回の留学を通じて、私は英語の勉強はもちろん、日本とカナダの文化や考え方の違いなどについて学ぶことができました。カナダの人は優しい人が多く、知らない人でも気軽に挨拶を交わし、生徒も明るい人が多く、初対面でも話しかけてくれて、気さくな人が多い国だなと感じました。

カナダでの生活は、日本のように忙しくなく一日がゆっくり流れるように感じました。逆に日本の良さは、欲しいものが全て揃っている、生活に不自由しない点です。日本は誰もが住みやすい環境ではないかと、日本を離れて改めて感じました。カナダ人に日本の印象を聞いてみると、人が多く混雑しているイメージや食べ物美味しく、文化に対して良いイメージを持っていました。私が尋ねた人は、皆日本に行ってみたくて話していました。

最後に、中期留学に参加させてくれた両親、英語のレッスンしてくれたネイティブの先生、サポートしてくれた担任の吉澤先生、一緒に来た友達、引率の先生すべてに感謝したいです。本当にありがとうございました。



トロントCNタワー前にて



ナイアガラの滝にて

SSH活動報告

サイエンスコミュニケーター活動の成果を小中学生に披露

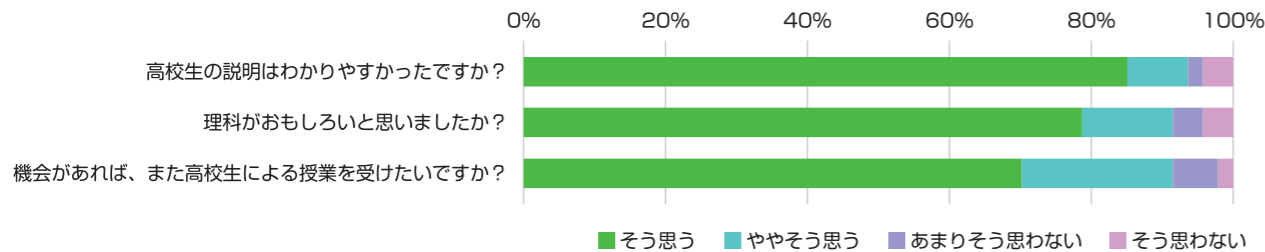
SSHクラス3年生が1月24日に本校中等部1年生を、29日に港区立高輪台小学校6年生を対象にした、「理科のおもしろさ」を伝える体験型授業を行いました。



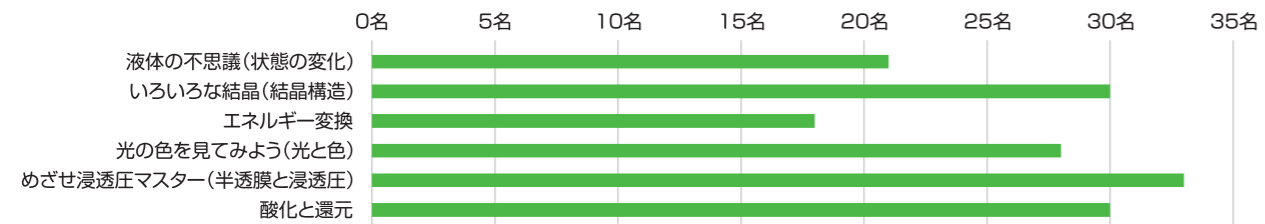
3年10組 笹山 ゆうこ

最後のSSH活動としてサイエンスコミュニケーター活動という小中学生に向けての授業を行いました。そのために、特別講座が始まってからの5・6時間目を使い、準備をしてきました。私たちの班では「エネルギー変換」をテーマにし、スターリングエンジンと手回し発電機という2つの実験も織り交ぜながら、理科の楽しさを伝えられるよう努めてきました。今まで授業を受ける側だった私は、人に教える立場がいかに大変かということを感じました。そして、この季節柄が本番へ近づくと体調を崩す生徒も多くなり、欠席者の分もフォローすることになりました。しかし、本番では純粋に楽しんでくれた小中学生に助けられ、緊張せずに発表することができました。やはり、小中学生がまだ習っていない理科の内容をわかりやすく伝えることは難しかったのですが、興味を持って聞いてくれたので嬉しかったです。私にとっても、改めて人に伝えることの楽しさや大変さを学ぶ良い機会になりました。

高輪台小学校児童(47名)を対象としたアンケート結果



印象に残ったテーマ(複数回答可)



ガスパロム附属教育センター(ロシア)とオンラインによる研究発表を実施

1月30日、ロシアの高校生とインターネット回線を利用した研究発表会を行いました。SSH3年生2名が課題研究の内容について英語でプレゼンテーションを行い、またガスパロムの発表に対しても英語を使って質問をしました。



3年10組 メッサー 真秀

私は今回、最初で最後になるオンラインでの研究発表を行いました。Skypeを使って発表をしましたが、私としては同じ教室でプレゼンしていると思い込んで頑張りました。私は「避難シミュレーション」について発表しましたが、加藤さんのピトー管に関する研究やロシアの皆さんの発表も興味深く感じました。発表前はとても緊張しましたが、皆さんが私に質問してくれて、私が発表した内容を理解してくれたということがわかり、安心することができたので、結果的には良い発表ができたと思います。しかし、どんな発表にも改善点はあると思います。近い将来に今回の反省を踏まえて、より良いプレゼンテーションを行うことを目指したいです。このオンラインセッションはとても貴重な経験になったと思います。協力してくれた先生とロシアの皆さんに感謝しています。本当にありがとうございました。

付属高等学校・中等部科学研究成果発表会(2月16日/代々木キャンパス)に参加



3年10組 平柳 蓮奈

今回の付属校全体での発表会に私は初めて参加しました。中には2回や3回と参加している他校の生徒もいました。そのような中で発表することに正直不安や心細さを感じていましたが、「高校生の科学者」という同じ立場で物おじせず発表する他の高校の生徒たちを見て、見習わないといけないと思いました。私の発表テーマは抗菌作用の相乗効果について調べたもので、生物に興味がある生徒や先生方からいろいろな質問やアドバイスをいただき、とても勉強になりました。今回スライドでの発表はありませんでしたが、機会があれば口頭発表もしたいと思いました。他の付属校の生徒と仲良くなる機会も設けてあり、非常に充実した会だったと思います。今回参加させていただいて思ったことは、付属校によって研究しているテーマに土地柄やその高校の個性が出てるとははっきりとわかるということ、とても興味深く感じました。

SSH活動速報

2月 2日	サイエンス基礎	脂肪酸・油脂の構造や反応に関する講義の実施
2月 6日	サイエンス基礎	小林美佳先生(ライオン(株))他4名による界面活性剤に関する講義と実験の実施
2月 18日	課題実験	科目内発表会の実施
2月 19日	サイエンス基礎	ライオン(株) 研究開発本部(江戸川区)の見学と研究者との交流
2月 25日	課題実験	全体発表会の実施
3月 1日	公共科学論	班テーマの決定(予定)
3月 2日	サイエンス基礎	課題実験テーマの探求(予定)

部・同好会活動報告

中等部
吹奏楽部

第52回東京都中学校アンサンブルコンテスト
金賞受賞!

一致団結

2年B組 永井 凜

私たち吹奏楽部は、今回のアンサンブルコンテストで6年ぶりに金賞を受賞することができました。昨年の冬ごろから練習を始め、メンバーがお互いに教え合ったり、講師の先生や顧問の新井先生にご指導をいただきながら、毎日練習を頑張ってきました。

本番の2週間前は、インフルエンザなどでなかなかメンバーが揃わなかったのですが、残りの一週間という短い期間によろやく全員が揃うことができ、金賞受賞という目標に向けて、再び一致団結することができました。本番では、メンバー全員でうまくまとまるか心配でしたが、しっかりまとまることができたので、金賞を獲得することができました。

今期の金賞受賞を励みに、8月のコンクールも一致団結して金賞を獲り、東日本大会に出場できるように頑張ります。

スキー部

関東大会・インターハイ出場!

～大成～

3年3組 市川 紗理奈

1月28日から30日にかけて関東大会、2月7日から11日までインターハイに出場しました。

関東大会では大回転11位、回転13位。インターハイでは大回転41位、回転44位でした。

3年間のさまざまな思いや経験を糧に、私自身全力を尽くして戦い切れた4試合でした。今シーズンは受験もあり、思うように練習を行うことができませんでしたが、学校の先生をはじめ家族や友人の協力、応援のもと、インターハイでは、秋田県鹿角市にある花輪スキー場の日本屈指の難関コースを滑り切ることができました。

3年間を振り返るとあつという間だったと改めて感じます。たくさんの壁にぶつかり、乗り越え戦った、充実した高校生活でした。全国大会で優勝をするという目標を達成することはできませんでしたが、それ以上に多くのことを知り、大いに成長できたと感じます。

4月からは新たな地にて、勉強とともにスポーツの発展に携われるよう精いっぱい頑張っていきますので、見守っててください。

最後に、3年間私の部活動を支援してくださった先生方をはじめ、後援会の皆様、学校関係者の皆様に感謝申し上げます。3年間盛大な応援をありがとうございました。



学年だより 中1

Tokyo Sightseeing Tour

18名のネイティブスピーカーの先生方とともに浅草寺、東京スカイツリー、上野動物園を訪れるTokyo Sightseeing Tourが行われました。バス内も含め、多くの話題で英語によるコミュニケーションをとることができました。

英語にチャレンジ

A組 種村 堅太郎

今回、サイトシーイングツアーで学んだことは2つあります。

1つ目は、英文などが書けるようになったことです。なぜなら、先生の話す言葉を聞いて、わからなかった時に、先生が丁寧にスペルを教えてくださいました。そのおかげで間違えずに英語を書くことができました。

2つ目は、早い英語も聞き取れたことです。なぜなら、いつも英語の授業などのリスニングでは、少しゆっくり話しています。しかし、ネイティブの先生と話してみると、とても話すスピードが速かったのです。最初は、ビックリしましたが、だんだんと聞き取れるようになってきました。わからないときは、ジェスチャーを使ってみました。

今後は、このツアーで学んだ2つのことを忘れずに、英語にどんどんチャレンジしていきたいです。

ネイティブスピーカーとの交流

B組 伊藤 誠烈

僕は今回、外国人の先生方と東京観光に行きました。そこで感じたことが2つあります。

1つ目はもっと英語を頑張りたいと思ったことです。今回、僕は先生方とあまり英会話ができなかったの、中学校2年生でのイングリッシュサマーキャンプに向けて英会話ができるように頑張るって勉強したいと思います。

2つ目はもっと東京のことを知りたいと思ったことです。今回のツアーでは浅草寺やスカイツリー、上野動物園などの東京の観光名所をまわりました。しかし僕が東京のことを知らなかったの、先生方に英語で上手に話すことができませんでした。

今回の経験をもとに、これからも頑張っていきたいです。そして2年生のイングリッシュサマーキャンプでも、今回のように楽しみたいです。



浅草仲見世商店街



浅草寺 A組集合写真

上野動物園 B組集合写真



バス内での会話風景

東京スカイツリー展望台から

学年だより 中2

第10回中学生「東京駅伝」大会

2月3日(日)に味の素スタジアムに隣接するアミノバイタルフィールドで、第10回中学生「東京駅伝」大会が行われました。本校からは2年A組の福田君、B組の伊藤君が出場しました。

頑張れた駅伝

A組 福田 弘樹

駅伝とは、仲間と協力して襷を継ぎ1位を目指す競技です。この競技はただ走って襷を継ぐということだけでなく、つらい中でどれだけ頑張れるかを試す競技だと私は思います。私はそこまでマラソンが好きではありませんでした。理由は、疲れるだけでその先には何も無いと思っていたからです。ですが前にいる人のことを抜かした後や、駅伝で走り終わった後などの達成感がとても嬉しかったので、見方が変わりました。他にも、走っている途中の観客の方の応援の言葉がとても力をくれました。駅伝大会のための3カ月の練習で積み上げたものが、自分に返ってくるような気持ちになりました。私の人生の良い経験となりました。

追われ続けた3キロ

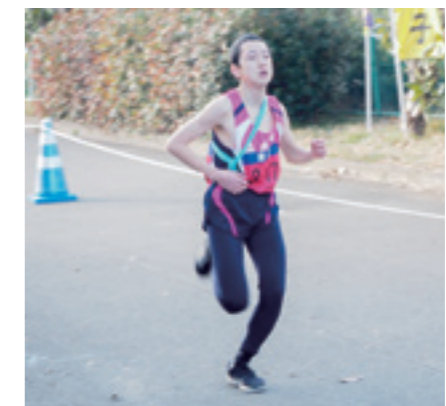
B組 伊藤 正宗

駅伝当日、会場に到着するととても驚きました。東京都の代表選手が集まっているだけあり、みな体格がとても良く、圧倒されていました。この人たちと走るのかと思ったとき、緊張が高まってきました。しかし、僕はアンカーを任されており、つないできてくれたみんなの思いや責任を感じ、精いっぱい頑張ろうと思いました。

自分の番になり、襷を受け取ったとき、緊張からか襷を落としてしまいました。このときから追われる戦いは始まっていたのです。襷を落としてしまったことを後悔しながらも巻き返そうと必死に走りました。残り1キロくらいで中央区のアンカーが近づいてきていることに気づきました。そして、最後のアミノバイタルフィールドで接戦が起こりました。最後は自分が勝つことができ、とてもいい経験ができたと思います。



順位を1つ上げるため!



アンカーの大役を全うするため!



声援を送ってくれたクラスメートと



お疲れ様でした!

学年だより 中3

中等部3年間を振り返って

中等部3年間、この学校で過ごしてきた思いや卒業に向けて今考えていることを、各クラスの級長・副級長にそれぞれ書いてもらいました。

A組級長 大塚 藍

私は入学式で祝辞を読んでから、この3年間とても早かったです。

中学1年生の時は、右も左もわからず、先生方や先輩がたくさん教えてくださいました。そして年を重ねるにつれて、後輩が困っていると助けてあげられるようになりました。

もう卒業です。3年間は長いように思うけれど、とても早かったです。級長、副級長をずっとやらせてもらい、人前に立つことがたくさんありました。その中でつらいこともあったけれど、クラスのみんなの性格をより深く知ることができて、楽しかったです。中等部3年間は私にとって永遠の宝物です。

B組級長 片岡 姫菜

私にとっての中等部3年間はあっという間に過ぎていきました。また、とても充実した中等部生活を送ることができました。それは日々努力すること、何事にも全力で楽しんだからだと思います。2月11日からのオーストラリアは、私たちにとって中等部最後の行事でした。そして、3月3日には卒業式があります。クラスのメンバーもクラスのある階も中等部の頃とは変わってしまっただけで、一日一日を大切に悔いのないよう過ごしていきたいです。

卒業式の日、皆で笑って良い思い出になればいいなと思います。

A組副級長 金原 有亮

僕は中等部を卒業するという事について、ワクワクしている部分と寂しいと思う部分があります。ワクワクしている部分は、高輪台高校に進学できるからです。高輪台高校は来年度から一人一台ノートパソコンを持たせると予定しているので、授業のやり方が大きく変わって思っています。寂しいと思う部分は、今まで学校生活を共に過ごしてきたクラスメートと会う機会が少なくなるということです。今までに僕たちのクラスはスポーツ大会や合唱祭などで協力し合い、いくつかの賞をとってきました。なので、会う機会が減ってしまうのが寂しい部分です。

B組副級長 緒方 大泰

中等部3年間はあっという間でした。行事面では体育祭の応援団長、合唱祭の指揮者など数々の大役を任せさせていただきました。また部活動では、1年生の最初の試合から3年生の最後までずっと大将をやらせていただき、中等部3年生で結果が出てきました。部活動では、顧問の種田先生についていって本当に良かったです。

中等部生活は、いろいろなことがありましたが、さまざまな経験をさせていただき、良い経験になりました。高校ではその経験を生かし、夢に向かって頑張っていきたいです。

A組副級長 節政 杏里紗

私たち中等部3年生は、3月3日で東海大学付属高輪台高等学校中等部を卒業します。

3年間つらいこともたくさんありましたが、それを乗り越えてここまでやってこられたのは3年間共に過ごしてきた仲間と、学校の先生方がいてくれたからです。スポーツ大会、体育祭、合唱祭などクラス対抗行事の時は、お互いのクラスを支え合っただけでなく、先生方の協力も借りて最高の出来上がりになりました。高校に進学しても、中等部で学んだことを忘れずに、より良い生活を送りたいと思います。

B組副級長 野上 真央

中等部での3年間は長いようであっという間に感じました。さまざまなイベントや経験を通して私はたくさんのお話を学ぶことができました。私たち中等部10期生は男女でも仲が良く、良い中等部メンバーなので卒業するのは悲しくなりますが、楽しい思い出がたくさんあります。私は3年間すてきな先生に恵まれ、充実した日々を送ることができました。そんな先生方に感謝し、中等部で学んだことを高校生活に生かして頑張っていきたいです。

学年だより 高1

現代文明論口頭発表会

12月19日、高輪キャンパス大講義室で高校現代文明論の口頭発表会が開催されました。各クラスの代表生徒たちが、自ら調査、研究した「現代文明の諸問題」についてのプレゼンテーションを披露しました。最優秀賞に7組の石間勇斗君、佐藤友咲君、高塚羅羽君、10組の坂本康太君が選ばれました。

核エネルギーのレッテルを変える

7組 高塚 羅羽

この現代文明論の発表会を通して、自分の考えていることを人に伝える難しさを知ることができました。今回は核エネルギーの必要性についてデメリットだけでなく、有用性もあるということを中心に発表しました。プレゼンを作っていく中で、内容がかなり複雑になり、わかりにくい部分が多く出てしまいました。その点をどのようにすれば聞いている人に伝わるか、わかってもらえるかを考えて、プレゼンを作成することが難しかったです。また、自分たちが伝え切ったと思っても、実際はいくつか質問を受けたので、その点をはっきり伝わなかったということを感じました。

このような機会を得て発表をすることができ、改めて考えを伝える難しさを知ることができたと同時に、発表の達成感を班員と味わうことができたので、この経験を今後にも活かしていきたいと思っています。

警備のあり方

10組 坂本 康太

私は警備保障会社を訪問し、そこで知ったこれからの日本の警備のあり方について発表しました。クラスの代表として発表するというプレッシャーから、本番はとても緊張しました。準備期間が短く、不安な点が多くありましたが、クラスを背負ってベストを尽くそうと発表に臨みましたが、発表中に思わぬミスに気づき、一瞬動揺しましたが、それでも冷静さを保てたことは、今までにはない成長だったと思います。また発表後の質疑応答は、聴衆側の質問に発表者が答えるという、発表本来の流れを経験でき、意味のあるものになったと思います。

自分のプレゼンテーション能力を見直し、クラスの代表として発表できたことは、これからの自分の糧となるに違いないと思いました。



模範ディベート

1月17日、高輪キャンパス大講義室で模範ディベートを行いました。肯定側、否定側双方が的確な主張を展開し、甲乙つけがたい熱戦が繰り広げられました。審判団によるジャッジの結果、3対2で肯定側が勝利しました。

論題:「日本はすべてのプロスポーツの試合の審判員をAIに切り替えるべきである。是か非か」

*ここでいう試合とは(公財)日本プロスポーツ協会の加盟団体が主催する試合とする。*切り替えは2040年までに行うこととする。

肯定側

西田 結名(7組) 小林 拳大(6組)
八木 響希(10組) 阿部 源太(5組)
荒井 郁美(2組)

7組 西田 結名

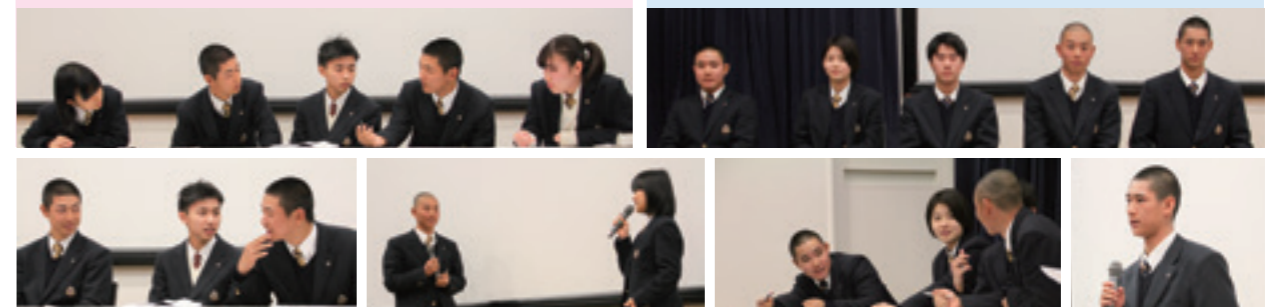
今回の論題は、「プロスポーツの試合の審判員をAIに切り替えるべきか」というものでした。しかし、私はスポーツが苦手な知識も乏しく、AIに関しても詳しいわけではなかったので、今回の論題は非常に難しいものでした。また、ディベートもこれまでに経験がなかったので、初めのころは心配と不安でいっぱいでした。しかし準備を進めていくうちに、自分たちの意見をまとめたり、反対意見の矛盾を見つけたり、仲間と協力していくうちに、一つのことをみんなで成し遂げる楽しさを感じました。これからの現代文明論の授業でも、今回の経験を活かしながら、より良いディベートができるよう追求していきたいです。

否定側

土谷 志真(3組) 前田 悠稀(4組)
鏡 健隼(8組) 足立 沙耶(1組)
草柳 凜太郎(9組)

3組 土谷 志真

私は今回の論題に対して、否定側の意見を述べました。立論をするにあたり、審判員がAIに切り替わることによるメリットとデメリットについて調べ、原稿にまとめるのに時間がかかり、一番大変でした。しかしディベートを体験し、自分の意見をはっきり述べることで、将来重要なスキルになることを実感しました。就職活動でもディベートや集団討論が課されるといいます。日頃から幅広い知識を身につけ、さまざまなことに興味関心を持つことが大切だと思いました。



学年だより 高2

高校2年生の生活も残すところ、わずかとなりました。進級の時にクラス替えをし、新たな気持ちでスタートを切った4月。共に行事乗り越えていくごとに深まっていくクラスの絆。この仲間たちと1年近くを過ごしてきた今、クラスはどのように成長してきたかを各クラスの代表者に綴ってもらいました。どうぞお楽しみください。

Story of our growth ~1組の成長の物語~ 1組 木村 大志



1組が成長したところは、授業に向かう姿勢です。前期は授業中に話したりしていましたが、後期は学園基礎学力試験が刻一刻と迫ってきていることもあり、集中して取り組んでいます。この素晴らしい最高の仲間たちと残り1年さらに高みを目指し、本校の模範になれるよう向上心を持って切磋琢磨していきたいと思ひます。

成長



活かし、発言が多くさらにメリハリのつけられるクラスを目指しています。

2組 鈴木 直人

私たち2組は、授業中と休み時間のメリハリがつかないという課題がありました。しかし、徐々にではありますが改善できており、より良い雰囲気の中で授業を受けることができています。持ち前の明るさを存分に

1年間で成長したこと



年度の行事もこの団結力を活かして頑張りたいと思ひます。

3組 奥友 雄大

3組が1年間で成長したことは団結力です。最初は、去年同じクラスだった人とはかなり話をしていてバラバラでしたが、体育祭や建学祭を通して、4月にはなかった団結力を得ることができました。

ありのままでつっぱしれ!! 4組!! 4組 後藤 更紗



あと1年、1年はないかもしれませんが、ありのままでいきましょう!!

私たち4組はそれぞれとても仲が良く、また、仲間思いの人が多くいます。一番クラスで成長したことは「団結力」。仲間の一人、二人が学校を休んだら、皆とても心配するし、遊びだつて仲間意識が強い。

なかよし2-5



みんなで楽しい思い出を作っていきたいと思ひます。

5組 小貫 満里奈

私たち5組は男子36人、女子10人という人数差があるにも関わらず、分け隔てなく男女仲良くしています。1年間を通して深まった仲の良さを団結力に変えて、来年度もスポーツ大会や建学祭など、みんなで楽しい思い出を作っていきたいと思ひます。

開花



た。3年生でも明るく笑顔で過ごせる1年にしたいと思ひます。

6組 長尾 優祐

6組は、この1年を通して成長したことがあります。それはクラスの仲が深まったことです。なぜなら、最初は皆、違うクラスから集まりましたが、今では笑顔あふれる仲の良いクラスにまで成長しました。

成長したこと



ところの区別ができてきて、とても楽しいクラスになりました。

7組 石橋 光

7組は、もともととても元気で男女間の仲も最初から割と良い方でしたが、最近はずっと良くなりました。その一方で、仲が良い分、メリハリがなかったのですが、最近は盛り上がるころと落ち着くころの区別ができてきて、とても楽しいクラスになりました。

2年8組観察日記



もっと仲良くなっていくことと思ひます。

8組 二木 桜子

私たち8組は4月からの11カ月で大きな成長をしました。このクラスはとても仲良くなりました。男子の仲や女子の仲もそうですが、男女の仲も深まってきています。卒業まで残り1年。8組はこれからも

1年間の成長



る精いっぱいのことを成し遂げました。来年度はより、皆の仲が深まればいいなと思ひます。

9組 宮田 龍芽

私たちはこの1年間で人間として大きく成長することができたと思ひます。なぜなら、学年が一つ上がり、先輩ができ、上に立つ立場になったからだ。部活動や委員会では後輩に指示をしたり、指示を伝えたりということが増えた。その中で抽象的ではなく具体的に伝えないと伝わらないことを学んだ。これは、将来一人前の大人になるために必要な力だと感じた。このことが私たちの1年間の最大の成長だと思ひます。

一丸となって...



10組が1年間で成長したことは、一つになって協力できるようになったことです。特に建学祭では、個々がなすべきことがある中で皆ができる

10組 松下 啓樹

10組が1年間で成長したことは、一つになって協力できるようになったことです。特に建学祭では、個々がなすべきことがある中で皆ができる

学年だより 高3

3月になりました。いよいよ卒業証書授与式です。卒業を控えた3年生の皆さんに、「卒業を目前として」というタイトルで一言いただきました。

1組 佐藤 豪紀

このクラスは、盛り上がりがないクラスでした。また、これまでにないかけがいのない友達を手に入れることができました。僕が一番思い出に残っているのはスポーツ大会です。1位にはなれなかったけど、クラスが一つになりました。みんなそれぞれの進む道は違うけど、夢に向かって突っ走ってほしいです。

2組 小林 美帆

高校3年間の中でたくさんのことを学ぶことができ、そして大切な仲間とも出会うことができ、とても充実した3年間になったと思っています。この先、大学に進学し、また多くのことを学べる機会が増えるので、自分のためになるよう知識をつけていきたいと思っています。そして、たくさんの資格に挑戦していけたらいいなと思っています。

3組 磯野 未来

私は6年間、この学校で過ごしました。たくさん迷惑をかけ、面倒を見てもらいました。いつも助けてくれた先生方。いつもそばにいてくれた大好きな友達。たくさんの人に囲まれて、高輪台で過ごしたこの時間は一生もののかけがえのない宝物だと言ひ切れません。卒業したくないと思うくらい、本当に楽しい6年間でした。学校も先生も友達もみんな大好きです!

5組 宝田 拓紀

2年間過ごした5組での日常が、私にとっての思い出です。毎日クラスに入ると、当たり前のように仲のいい友達が出て、休み時間はワイワイして、そんな日々がもう終わってしまうのは非常に寂しいです。しかし、出会いがあれば別れもあるものです。私は、また新たな素晴らしい出会いがあることを期待して大学に進学します。

4組 細沼 桃花

私はこの3年間たくさんの人に支えられて過ごしてきました。毎日美味しいお弁当を作ってくれる母、つらい時も楽しい時も隣にいてくれた友達、少しの変化にも気づいて話しかけてくれる先生方がいてくれたから、最高の高校生活を送れました。何気ない日常を当たり前のように過ごすことができ幸せでした。私と関わってくれた全ての人に感謝しています。

7組 江波戸 優真

"悔しいが悔いはない"、目標であった甲子園には届きませんでしたが、高校野球を通じて技術はもちろん、人として成長することができました。また、かけがえのない仲間たちと出会えたこと、最後まで全員で戦い抜けたことを私は誇りに思ひます。3年生との野球は、最高の時間でした。ありがとう。次のステージでも感謝の気持ちを力に変え、チームの力になれるよう頑張ります。

8組 村上 綾香

特別講座が始まった時、とても寂しく感じました。なぜなら8組で過ごした日々は楽しく、居心地がよかったです。8組はイベントの企画段階ではノリ気じゃない人が多いですが、いざ当日になるとなんだかんだで盛り上がるクラスでした。私は個性豊かで優しいクラスのみんが大好きです。この先みんな違う道を歩んでいきますが、素敵なままでいてください。2年間ありがとうございました。

6組 中嶋 涼嘉

3年6組の一番の思い出は、建学祭の2年連続賞をいただいたことだと思ひます。私たちの担任の新井先生は、生徒思いで優しくて面白い先生でした。建学祭では、一緒になって小籠包を作ってくださいたり、案を出してくれました。クラスみんなで協力して楽しくできたからこそただただ賞だったと思ひます。2年間本当にありがとうございました。

9組 志村 一晟

私にとってのクラスの思い出は、みんなで作り上げた文化祭です。3年生最後の文化祭、最初で最後の販売物ということもあり裏方でしたが、自分なりに貢献できたと思ひます。ダンボールで作るお芋スティックをどう作れば本物に近づけるか、何をどこに飾るか皆で話し合いながらデザインしました。当日はお芋を揚げる担当で、その揚げたお芋を美味しく食べる方々を見て、毎日準備した甲斐がありました。大学では食品について学ぶので、この時のように人に喜んでもらえる食品を開発できたらと考えています。

10組 安藤 伊織

入学時、SSHクラスでは3年間同じクラスで過ごすためとても不安でしたが、クラスは内部生が半分近くを占めており、ここで友人は作れるものかとも不安になりました。しかし、今となっては共通の趣味につながった友達や、毎週のようにご飯を食べに行くような友達もできました。このクラス、好きです。

お知らせ

第70回(高校)・第10回(中等部) 卒業証書授与式

●時間 3月3日(日) 10時開式 ●場所 本校アリーナ (地下3階)

※保護者の方は9時40分までにご着席ください。

— 高3 高輪会(同窓会)入会式 3月2日(土) —

東海大学付属高輪台高等学校の同窓生の組織として『高輪会』を運営しています。各学年の卒業生より高輪会役員を選出し、その中から執行役員を選出して活動しています。本校の教育活動及び諸行事に協力することはもちろん、東海大学傘下の高等学校とも情報交換し、親密なつながりを持って、同窓生の支援を行っています。

行事予定

March 3月

April 4月

- 2日(土) 3年生を送る会 短縮授業(1時限目カット)
高輪会入会式(高3)
- 3日(日) 第70回(高校)・第10回(中等部)卒業証書授与式
- 4日(月) 生徒休業日
- 5日(火) 後期期末試験(高1・2:~8日)
特別時程(中1・2)
- 6日(水) 後期期末試験(中1・2:~8日)
- 9日(土) 生徒自宅学習日
新入生制服採寸・教材販売(高校延納)
- 11日(月) 答案返却
教科書販売(新高3)
- 12日(火) 生徒自宅学習日(~13日)
- 14日(木) 特別授業(~16日)
- 18日(月) 生徒自宅学習日
- 19日(火) 修了式・離任式
教科書販売(新高2)
- 21日(木) 春分の日
- 23日(土) 新入生クラス分け試験(高校)
- 25日(月) 希望者講習(高1・2:~29日)
春期講習(中1・2:~29日)
- 30日(土) 後援会委員総会④

- 2日(火) 新入生登校日
- 3日(水) 第76回(高校)・第13回(中等部)入学式
- 4日(木) 始業式・就任式・対面式
特別時間割(高2・3、中2・3:~10日)
- 5日(金) 健康診断・写真撮影(高1、中1)
- 6日(土) オリエンテーション(高1:~9日)
オリエンテーション合宿(中1:~8日)
スタディサプリ確認テスト(高2・3)
- 8日(月) 健康診断・写真撮影(高3、中3)
- 9日(火) 振替休日(中1)
健康診断・写真撮影(高2、中2)
- 10日(水) 特別授業
- 11日(木) 学園基礎学力定着度試験(高校)
外部実力試験(中等部)
- 13日(土) 短縮授業 保護者会①(高2・3、中2・3)
- 16日(火) 校医相談日①
- 18日(木) 学年集会①(高3)、全校集会(中等部)
- 20日(土) 短縮授業 保護者会①(高1、中1)
- 23日(火) 新入生仮入部期間終了
- 25日(木) 憲法記念講演(高1:1・2時限)
学年集会①(マナー講座)(中1)
- 29日(月) 昭和の日
- 30日(火) 国民の休日

編集後記

陽の光に誘われて木々の蕾も膨らみ始め、春の足音が感じられる季節となってきた。3月は卒業式のシーズン。かつては卒業式の定番ソングとして歌われた「蛍の光」であるが、年々、歌う学校は減ってきているようだ。どちらかという閉店を告げるBGMのイメージが強いのではなかろうか。「ほたるのひかり まどのゆき ふみよむつきひかさねつつ…」当時、親や先生から歌詞の意味を聞き勤勉であることの大切さを学んだ。あまり歌われなくなった「蛍の光」だが、時とともに失われていく大切なものをもう一度思い返していきたい。(ほ)

東海大学付属高輪台高等学校・中等部

TEL.03(3448)4011 FAX.03(3448)4020 ホームページ: <http://www.takanawadai.tokai.ed.jp/>